

**第2期ロジスティクス環境会議
グリーンサプライチェーン推進委員会 第8回源流管理分科会 議事録**

I. 日 時：2007年9月21日（金） 16：00～18：25

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：6名

IV. 内 容：

- 1) チェックリストについて
- 2) 参考情報について

V. 開 会

事務局より開会が宣された後、以下のとおり議事がすすめられた。

VI. 議 事

1) チェックリストについて

事務局より、資料1に基づき、第7回分科会以降の経過について説明がなされた後、資料2-1、2-3、参考資料に基づき、チェックリストの評価軸項目について検討が行われた。主な意見は以下のとおりである。

【主な意見】

(チェック項目1)

幹 事：『よく出来ている』の“社外への周知”は“社外への積極的に公表している”の方が適切だと考える。

(チェック項目2)

幹 事：“環境委員会や環境部門”はチェック項目3に該当する内容だと考える。

幹 事：『遅れ気味で努力不足』は、“方針を作ろうとしている”という内容の方がよいと考える。

(チェック項目4)

委 員：『遅れ気味で努力不足』と『まずまず出来ている』の差異が分かりにくいのではないかと。

幹 事：『遅れ気味で努力不足』は、“計画を作ろうとしている”という内容の方がよいと考える。
また、『まずまず出来ている』の“及び責任者”は不要ではないかと。

(チェック項目5)

委 員：“～に向けて、前向きに”という表現は違和感を覚えることから、“前向きに”は削除してよいのではないかと。

幹 事：関係部門のみならず、全従業員を対象に教育実施を求める必要があるのではないかと。

幹 事：メーカーを考えると、“ロジスティクス関係部門”の方がふさわしいと考える。

(チェック項目6)

委 員：『遅れ気味で努力不足』は、“実施していないことを把握”が分かるような表現に修正した方がよいと考える。

(チェック項目8、9、10)

幹 事：認証の更新を辞めている企業も最近出てきており、取得だけで評価するのは疑問である。

事務局：取得していても、チェック項目1～7、13ができていなければ、環境負荷低減に向けた効果があるとは言えないため、項目としてはこのままでもいいのではないかと。

幹 事：評価軸の項目は変更せず、チェック項目の中に、“(自己宣言相当の活動をしている)”としておけばいいのではないかと。

(チェック項目 11)

委員：評価軸にある“物流・ロジスティクス活動に伴って発生する”は、削除してもよいと考える。

委員：チェック項目の“全ての”も不要ではないか。

幹事：廃棄物の種類でレベルわけするのではなく、取り組んでいる事業所の割合でレベル分けした方がふさわしいと考える。

(チェック項目 12)

幹事：『よく出来ている』の“関係部門へ周知”は、内容としてふさわしくないと考える。

委員：把握、整理したものを環境方針や計画策定に活用しているといった内容の方がふさわしい。

(チェック項目 13、14)

委員：評価軸にある“輸配送に係る環境”や“包装に係る環境”は、削除してもよいと考える。

(チェック項目 15)

幹事：『よく出来ている』は、業界全体の内容と指導的な内容で整理してはどうか。

委員：“一部の取引先”、“多数の取引先”は、“取引先”としてよいのではないか。

(チェック項目 16)

幹事：チェック項目 15 の“取引先”との違いを教えてください。

事務局：チェック項目 15 の取引先には、例えば発荷主であれば、「着荷主」や「輸送事業者」が該当し、いわゆる協力会社は含まないイメージである。

事務局：『遅れ気味で努力不足』の“のための～のための”を修正する。

幹事：『よく出来ている』で“半数”とした理由について教えてください。

事務局：CO₂削減推進委員会の燃費向上WGでエコドライブの検討をしているが、その際に、メンバーの意見として、「協力会社への支援、指導が課題」ということであつたので、“全社”ではなく、“半数”とした。

(チェック項目 17)

幹事：『遅れ気味で努力不足』の“コミュニケーション”や『まずまず出来ている』の“ヒアリング”は、“話し合い”に修正した方がよいと考える。

(チェック項目 69)

幹事：車両に係る事項は、事業所の割合ではなく、台数の割合の方がふさわしいのではないか。

委員：一般的に“低公害車”には、燃費基準をクリアした車も含まれるため、現状の評価軸では回答者が混乱する恐れがある。

事務局：チェック項目を“クリーンエネルギー自動車”のみにして、参考情報にCNG等を例示した方がよいと考える。

幹事：『まずまず出来ている』は“試験的に導入”、『よく出来ている』は“積極的に導入している”の方がいいのではないか。

(チェック項目 71、72、73)

幹事：チェック項目 69 と同じ整理の仕方でよいと考える。

(チェック項目 81)

委員：省エネ対応の照明などは、全事業所で設置しているのではないか。

幹事：例えば、照明で言えば、人が通ったときだけ点灯する照明、空調で言えばエコアイス、変圧器で言えばNEDOの補助金が出るものなどが該当するのではないか。

幹事：評価軸チェック項目 69 と同じ考え方でよいと考える。

(チェック項目 83)

幹事：代替フロンとノンフロンの違いを教えてください。

委員：代替フロンには、別のフロンが使用されていて、ノンフロンにはアンモニアなどが使われている。

幹事：現在、フロンを使用している冷蔵倉庫をノンフロンに切り替えることは出来るのか教えて

いただきたい。

委員：おそらくできないのではないかと。

事務局：冷凍食品を扱っている企業の方に確認する。

(チェック項目 51)

委員：参考情報でHFCとあるが、番号によって地球温暖化係数が変わるはずである。

(チェック項目 31、32)

委員：業種や取扱商品によって、モーダルシフト化率は大きく変わるのではないかと。

幹事：業種ごとに策定できるのが理想であるが、今回はそこまではできないので、多くの企業で納得できる数値であればよいのではないかと。

幹事：15%の設定理由について教えていただきたい。

事務局：エコルールマークの認定基準がモーダルシフト化率30%以上(商品)であり、それを参考に15%とした。

幹事：別途モーダルシフト化率の項目を設けることも一案ではないかと。

幹事：モーダルシフト化率については、業種別輸送機関割合を参考に検討してはどうか。

(チェック項目 33)

委員：“周辺住民への環境影響”ではなく、あくまでも輸送距離等を勘案した拠点設置という理解でよいか。

事務局：ご指摘のとおりである。

委員：物流事業者の立場では、コストと提供するサービスレベル等を勘案して、効率のいい場所に設置するのではないかと。

委員：荷主の立場では、生産拠点とともに物流拠点を変更することは考えられる。

幹事：“拠点を設置する際は環境負荷を考慮するとともに、物流効率化法やグリーン物流パートナーシップ推進事業の申請も検討している”といった内容でよいのではないかと。

【決定事項】

- ・チェック項目1から21、設置、導入型設問(チェック項目50、69、71、72、73、74、79、80、81)の評価軸が確定した(別紙参照)
- ・以下の項目については、事務局で原案を作成し、次回委員会前に提示することとする。
 - ①チェック項目12、15の『よく出来ている』
 - ②チェック項目81の参考情報
 - ③チェック項目83 →冷凍食品メーカーに確認を取る(事務局)
 - ④チェック項目51
 - ⑤チェック項目31、32 →輸送機関別比率の確認(事務局)
 - ⑥チェック項目30
- ・チェック項目5含め“～に向けて、前向きに”の表現の“前向きに”を削除する。

2) 参考情報について

事務局より資料3に基づき説明がなされ、①行政、団体情報等を中心に掲載する、②スケジュール等を勘案し、間に合わない場合は一部項目を空欄とする場合もあることを確認した。

3) 今後の進め方について

第9回分科会については以下のとおりで開催することとなった。

日時：11月9日(金)

勉強会：15時30分～16時

分科会：16時～18時

会場：JILS 会議室

なお、勉強会の講師については、水頭委員にお願いすることとなった。

また、本日検討できなかった項目の修正素案を作成する「第3回少人数検討会」を10月に開催することとなった。日程、メンバーについては、別途事務局から連絡することとなった。

VII. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了した。

以 上